

## 今 新宿が面白い☆☆☆

以前から東京面白シリーズを寄稿してきましたが、多分今回が最後になると思います。最後の閉め括りとして「新宿」を取り上げました。一口に新宿と言っても余りにも広く、全てを知りません。ここではその中でいかにも新宿と言う所を選んで書きました。どうしても飲み屋や妖しげな所が多いですが、筆者の本能に基づいた行動から抽出したと推察願います。

### 新宿ゴールデン街（過去と未来と芸術の街・・・）

戦後赤線地帯でした。バブルの頃はボッタクリの場所でした。そして今は、清く正しく明るい街と変貌しました。しかし一貫して言えることは「常に芸術のオーラが存在した」ことです。著名な作家やアーティスト、多くの若者がここで飲んで、議論して旅立った所です。軽挑浮薄な筆者も東京へ来て月に2～3度訪問しますが未だ飽きたと言う言葉は出て来ません。いやむしろ益々興味のある街と成りつつあります。伊勢丹前の通りから木立に囲まれた道を斜めに入っていくとそこがゴールデン街(途中に小さなお稲荷さんの社あり、餐錢を差し上げると事故病気から免れる)、正式には幾つかの名前が有るようですが、一帯をゴールデン街と呼称します。約300軒の飲食店があるそうで、いずれも2坪前後と狭く、10人も入ればぎゅうぎゅう詰め、カウンター内ではお腹を壁にこすり付けながら、ママやマスター(余り居ない)が懸命に働いています。街に入って左側に「ジョー☆」と言うオカマバーが有ります、一応会員制ですが空いている時は入れてくれます。兎に角、歌が上手い、美空ひばりがレパートリーですが、狭い店内、本人が歌っている様な錯覚に陥ります。「あーらふーちゃんお久しぶり」ちょっと異常な雰囲気も粹なものです。半ば過ぎの路地を右へ、「原子★★」、スタンドバーです、いずれも同じ超狭い空間ですが、ママは綺麗でもあり、綺麗でも無い人がやっています。と言う訳は毎日経営者(ママ)が変わるからで、今日居たママは明日居ると言う保証は全く有りません。(この街では他店でも当然の様に行われている、経費材料費の分担はどうしているかは疑問?)唯言えることはいずれのママも芝居に対する情熱が熱いことで。時には「も一勘弁してよママ・」の言葉が出る場合もあります。その外には「♪♪♪カ」と言う昼間は喫茶店・夜はスナックの店ですが、ママは2人仲良しこよしで開いています。二人共、国立音大でバイオリンを学び、オーケストラメンバーを目指しているそうで、仲良く成れば目前で奏でてくれます。クラシックで余りよく判りませんが上手と思いました。今は群馬交響楽団でときおり弾いているとのこと、早くメンバーに或れることを祈っています。

外にも色々面白い店は多々ありますが、全店網羅するには数百万円は必要ですのでこの辺で終わります。、現在のゴールデン街は決して怖い所では有りません。三光町飲食店組合のパトロールも巡回しています、又テーブルチャージ無料の店も増えています。値段もリーズナブルで女性客同士が増えていることから立証出来ると思います。(追記)猫が多いのにはビックリです。

### 新宿シオンベン横丁(思い出横丁とも言う)

新宿駅西口を出て北へ200m程、ピヅクカメラを右手に曲がればその一角が通称「シオンベン横丁」です。間口3~4mの飲食店がハーモニカの吹口の様にびっしりと並んでいます。暁き鳥屋・ラーメン店・寿司屋・ウナギ屋そして精力増強屋等々その数は判りませんが兎に角多いことは確かです。入って奥の方☆☆☆と言うウナギ屋の暖簾をくぐります。ここはウナギのぶっ切りを食べさす所で、肝・半助・藩焼等目の前で焼いてくれます。飲み物はビールと焼酎・名物はビールに焼酎を混ぜたビーチウで、これは効きます、余分に飲むと足を取られて街の外へは出られません。親父さんはいつもニコニコ、温かな方で常連さんでほとんど満席です。その少し手前にある★★★と言う精力材料？を使った料理を出す店、蟻の卵・サソリの空揚げ・オットセイのチ？コの刺身等、これを泡盛や招興酒と共に食すのですが、目の材料を見るとチョット身が引く思いです。でも仕事で疲労困憊のビジネスマシや、奥様に「貴方この頃駄目ねー、柔らかいのはステーキだけで結構よ・」と言われているお父さんが一縷の望みを掛けて食べています(一品千円~3千円で安く無い、総額1万円以上必要)

その手前左側、店先を開放した所が多いなか、ここはきちんとした戸があり一見小料理屋風ですが中は焼き鳥と小料理がメインでほとんどは近隣姉妹店から持ってきます。ママさんは最初日本人とと思っていましたが、中国人で結構績麗ですし、ユーモアや洒落も通じます。帰る時、「謝々」「再見」と言えば素敵な笑顔が返ってきます。そこの前はテレビでも紹介された定食屋、300円~500円代のおかずが多く昼間は食堂ですが夕刻は酒場と変身し、目物女将(長靴履いたお婆さん)を相手に毒説を吐きながら飲んでいる酔客で一杯です。一品が安い為、一人で幾皿も取ってカウンターはあたかもゴミ集積場と成っている事が多々あります。

理解不能のネーミングの物もあり、新宿へ行ったら一度定食でも食べてください。小腹が空いたら奥のラーメン店へ、今どき390円で売っています、それなりに美味しいですよ。と言う訳で外にも面白い店はありますが、ページの関係でこの項終わりです。最後に23時頃になれば内外女性「夜の蝶」が貴方を誘

ってきますよ…。

### 新宿歌舞伎町(…驚異の世界)

240諸兄は数多く行かれたと思いますが、世界でも有名な歌舞伎町です。歌舞伎町一番街のアーケードをくぐって200m、左側ビルの7階(5階かも…)ス★★と言うスタンドバー、カウンター席とボックス席が3席ほどの小さなバーですが、この所にオープンして17年、それ以前にも20年位当地で商売していたそうで、文字通り新宿の主そのもの、近郊の店の歴史や現状をほとんど把握しているらしいです。筆者も数年前から時々行きますが、60年代の雰囲気醸し出しています。カクテルは数百種類出来るそうで、目の前でシェーカーを振って造り、計量もしないのにカクテルグラスに注いだらピタリと適量に成るのはマスターのバーテンダーとしての歴史を物語っていました。騒動しい歌舞伎町でほっと出来る空間です。コマ劇場手前を右に曲がって100m、シックな店構えに彩られた和食の店、シャブシャブで有名な○○○です。中はシックなインテリアで飾られ、女性が個室へ案内してくれます、と言っの値段はリーズナブル、良くやっているキャンペーン時では一人前5千円位で一応満足出来ます。240諸兄も奥様を連れて行けば、見る目が変わるかも知れません。

外にも風☆関連や一部危ない所も書きたいのですが、240誌にはふさわしく無いし本誌の主旨から逸脱すると思われますので、今回は遠慮させて戴きます。規制緩和がもっと進んだら機会を見て書きましよう。歌舞伎町最後は一度表へ出て伊勢丹の方へ、大きなカラオケ店が二軒あります。手前の店は無視してもう一軒に入りましよう。☆☆☆スです、最近リニューアルして内装が大人の利用に成えられる様になりました。前回の240誌にも書いたUGA機が多く入っています。カラオケ好きな諸兄にお薦めです(チョットPRゴメン)

もし機会が有れば事前筆者あてに電話下さい、240特別割引が適用されます

### 新宿2丁目(清く正しく、そして妖しい繁華街?)

「お釜とお鍋」「ジャズとショータイム」混沌とした現在にふさわしい新宿、これが2丁目です。近隣90軒ほどの店のほとんどが一般社会から弾かれた人々が安息の場所を得られる所、大きな葛藤を持って社会の片隅でひっそり生きる人々が胸を張って人生を謳歌できる所、それが2丁目です。と言え何やら魔物が棲息する魔窟の様ですが、昼間は極普通の町並みです。郵便局もあります、コンビニもあります、八百屋や鮮魚店も店を構えています。極普通の街です、ビルに掲げられた控えめの看板を除けば・新宿公園も子供がサ

ッカーやキャッチボールで遊んでいます。昼間の2丁目からはどうしても「新宿2丁目」と言うイメージが沸きません。何年か前、東京へ来た時昼間初めて行きました。ワカワクして行ったのですが、聞いていたのと余りにも違いがっかりしたものです。街の中程には3〜4軒、定食屋が有ります。いずれも5坪ほどでサンマ定食とか焼肉定食とかを提供していますが、今でも七百円前後と安くサラリーマンで賑わっています。太陽が西の空に沈み、夜のとばりが付近一帯を包む頃、この街は全く別の顔を見せ始め、前述の定食屋は「一見女・しかして実態は??」の人々で占領されます。そうです、お姉さんたちの出勤時間と成りました。脂粉の香りを振りまいて「昨日きた客さー、その気にさせてンケよよー。嫌な奴」とついでに愚痴も振りまきます。ネオンは灯りました。三々五々あちこちから一時のやすらぎを求めて人が集まってきます(中にはンケで興味本位で来る者も多い、地方の見物客も居るとのこと)さっ、早速店へ行ってみましょう、〇〇〇〇マがありました。一時インターネットでも出た安心出来る店です。80kgはあろうかと思われる「ママ」とスタッフが相手してくれます、その話題の広いこと、しゃべりの面白いこと、多少高めですがそんなじょそこのスナックより数段楽しいことは間違いありません。興に乗った客の中には隣りの人とキスを交わしたりで、少し気持ちが悪いですが通常見ることが出来ない光景が繰り広げられます。(求められましたがきっぱりと断りましたからご安心を)

少し東よりに△△△カフェがあります。カフェと言っても居酒屋に毛が生えたつくりで一応オープンカフェとなっています。ビールから焼酎・カクテルまで多種多様の酒があり比較的安いので外人がビールラップ飲みの光景が見られます。但し変なそぶりを見せたら間違われますからご注意ください(2丁目は外人向け東京観光案内にも載っているそうです)

新千鳥街、街の名前ではありません。小さな路地に3〜4軒の店があり、筆者は入り口のスナックへ入りましたが、奥に有名な魚を食わす店があり一万円で新鮮な魚料理のコースがあるらしいので今度探訪してみます。歌舞伎町よりのア〇〇、素敵なお姉さん達のショータイムが見られます。狭い店ですので目の前のお姉さんの▲▲のモッコリが迫力です。新宿公園、昼間は子供達の遊び場が夜には一転して「ハツテン場」と変貌、そこかしこのベンチには許されない出会いを求めた人が同好の友人を求めてたたずんでいるのです(21時過ぎが多い)

## 新宿ピットイン

知る人ぞ知るジャズのメッカ、日本のジャズメンが一度はステージを踏んでい

ます。正確には2丁目では無いのですが、近隣(歩いて数分)ですからこの項に入れました。会社が新宿に有った頃は週に3~4回通ったこともあります。2丁目遊びはその頃径験しました。禁断の愛しか交わすことが出来ない街2丁目、彼らや彼女達は寂しくそして優しい人ばかりです。今回「お鍋店」は遠慮しましたが機会があれば徹底して記載します。